

公益活動報告書（市民活動実績報告書）（令和5年度分）

（宛先）岡崎市長

令和 6年 3月 12日

団体名 岡崎に能楽を広める会

代表者 大津 一夫

構成員 **55** 人 （※令和6年4月1日時点の構成員数）

団体の目的：団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

会員相互の親睦を図りながら、岡崎城二の丸能楽堂等を活用し能楽を広め、広く市民の皆さんに能・狂言を理解し親しんでもらい、城下町岡崎の文化の一つとして「能の町岡崎」として広く知られるようになることを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現するための活動を、以下の項目に従って報告します。
なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■ 1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどんな活動をしましたか（公益活動に限る）。

活動日 又は期間	場 所	公益※ ¹ を受けるのは 誰（何）か	受益者数		活 動 内 容	公益を受けるものに どのような効果があったか
			会員以外	会員※ ²		
5月21日	いぶら	会員・市民	5	15	講演会	講師 大河ドラマ館 館長 唐澤信幸氏 演題 「大河ドラマ館と私」
10月8日	甲山会館	市民	60	10	「わくわく体験 会」出展	展示資料・能面体験を 通して、能楽を知ってもらえた
10月15日	せきれいホール	会員・市民	5	10	講演会	講師 シテ方 金剛流 波 多野良子様 演題 「殺生石割れた！ ～伝説の光と影～」

※1 **公益** 市に登録した分野での活動で、広く市民社会一般にもたらされる利益（公益が団体や、その構成員や会員に対してもたらされる活動は、公益活動には当たりません。）

※2 **会員** 構成員であるなしに関わらず、公益の提供者として会の活動に参加する人
☆記載欄が足りない場合は、別紙を添付する形でも構いません。

■ 2 前項1に基づき、活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください（数字に○をつけてください）

高い ← 5 4 ③ 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください

新型コロナウイルスまん延により例年行っています「薪能」の開催、また、小中学校での能楽体験学習もできませんでした。

裏面の自己診断チェックリストをご確認ください。